

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会

資料 1

令和5年度 第3回函館市学校部活動の 地域連携・地域移行等に関する協議会

日時 令和5年11月15日(水)
午後6時30分

場所 函館市役所5階 教育委員室

議題 先進地調査の結果報告について

函館市学校部活動の地域連携や地域移行のイメージ 1

地域の実情に応じ、段階的に地域へ移行
(当面は学校部活動と地域クラブ活動が並存)

【地域連携】
(学校が主体・学校教育の一環)

A 単独学校部活動
部活動指導員の配置

B 合同学校部活動
(合同チーム・拠点校)
部活動数等の精査
部活動指導員の配置

合同チーム方式

拠点校方式

【地域移行】
(地域が主体・社会教育の一環)

C 地域クラブ活動
(スポーツ・文化団体等)
地域の運営団体・実施主体を決定
指導者・活動場所の確保
実施ルールの策定

文教施設、学校施設、
民間のスポーツクラブなど
多様な場所で開催

目指す姿
地域が主体となり、将来にわたり生
がスポーツ・文化芸術活動に継続して
親しむことができる環境を整備

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会 1

調査の目的

○ 部活動の地域移行にあたっては、移行後のさまざまな運営形態が想定される
ところであり、例えば、地方公共団体や関係団体（スポーツ協会や文化団体な
ど）、また既存の民間団体（スポーツクラブやスクール、総合型地域スポーツ
クラブなど）が運営団体となる場合や、新たに運営団体を設立する場合などが
ある。

そのため、本市において参考となると考えられるスポーツ・文化環境の整備
に係る仕組みづくりに関して、先進自治体等の取り組みを調査する。

函館市の地域移行に関する推進計画の策定

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会 2

調査担当者（函館市教育委員会）

学校教育部教育政策推進室教育政策課 主査 鈴木 将宏
生涯学習部生涯学習文化課 主査 小川 春奈
生涯学習部スポーツ振興課 主査 池上 華代

調査日 令和5年10月10日(火)～13日(金)
10月10日 富士市③
11日 沼津市④、静岡市⑤
12日 焼津市②、掛川市①

調査場所 各市教育委員会

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会 3


令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会

①掛川市

人口 24.2万人
中学校数 16校

○ 調査ポイント

- 令和8年度に部活動の廃止を掲げている
- NPO法人掛川スポーツ協会や掛川市文化財団、その他公認地域クラブが運営する学校部活動の地域移行の取り組み（民間団体による指導者派遣や事務局運営の取組など）
- 市独自の地域クラブ公認制度や指導者人材バンクの設置
- ホームページなどによる市民への情報発信



令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会 4

地域移行の取り組み等について

かけがわ地域クラブ ～様々な地域団体が運営～

いろいろなスポーツや文化活動を
選ぶことができる。どんなことに
チャレンジしようかな？

掛川市スポーツ協会
・軟式野球
・サッカー
・バスケットボール
・バドミントン など

掛川市文化財団
・吹奏楽
・美術
・プログラミング
・将棋 など

その他公認地域クラブ
・ダンス
・新体操
・硬式テニス
・演劇 など

A中学校 プール
A中学校グラウンド
B中学校 体育館
市内公共施設
C中学校 校舎

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会 5

地域移行の取り組み等について

かけがわ地域クラブ設立連絡協議会

活動理念の共有、ガイドラインの共通理解、団体間の連携等

掛川市・掛川市教育委員会（事務局）

委託
市スポーツ協会・競技団体
市文化財団・文化団体

運動クラブ管理事務局
文化クラブ管理事務局

公認・支援

公認地域指導者

運動系クラブ
文化系クラブ
その他公認地域クラブ

生徒
保護者
市民・企業・学校・教員（委嘱指導等許可）

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会 6

地域移行の取り組み等について

ソフトテニス

1. かけがわ地域クラブ一覧

※掛川ソフトテニスクラブのチーム数は、事前の入部希望調査の結果によって、変更する場合があります。

運営団体	クラブ名	所属会場	対象学年	参加範囲	活動日数	時間等	会費	活動状況
掛川市	掛川ソフトテニスクラブ 男子チーム	いこいの広場 運動広、稲沢江、西 田原小学校、市民会 館	中1～中3	運動広、稲沢江、西 田原小学校	週3～5日	平日 9時～12時 休日 15時～18時	円5,000円	募集開始予定
掛川市	掛川ソフトテニスクラブ 第2チーム	いこいの広場 運動広、稲沢江、西 田原小学校、市民会 館	中2～中3	北、東、南川	9-10月練習期間 週2～3日	平日 9時～12時 休日 15時～18時	円5,000円	募集開始予定
掛川市	掛川ソフトテニスクラブ 第3チーム	大森運動場 稲沢江、大森、大森東 小学校、市民会館	中1～中3	稲沢江、大森、大森東	9-10月練習期間 週2～3日	平日 9時～12時 休日 15時～18時	円5,000円	募集開始予定
川尻町	STAR☆（ジュニア）	いこいの広場	中1～中3	市内会場	週2日	月 20時～	円6,000円	活動中
川尻町	Primeソフトテニスクラブ	東郷体育運動公園	中1～中3	市内会場	週1日程度 （2ヶ月間）	平日 16時～19時 休日 19時～22時	円6,000円	公認中継未中
川尻町	関川ソフトテニスクラブ	大森運動場	中、高、一般	市内会場	週3～4日	平日 9時～12時 休日 15時～18時	円2,000円	活動中

2. 指導者・サポーター募集

指導者・サポーターを募集中！
～クラブ活動を充実させてくださいませんか～

3. クラブ募集

かけがわ地域クラブ加盟団体募集！
～新しいクラブの開設情報も発信しています！～

小学生アンケート結果

学年	人数
小学4年生	53人/1,032人
小学5年生	60人/1,031人
小学6年生	77人/1,060人

希望者数
希望回数
大会参加
出場したい
出場したくない
不参加
不参加

53人 (51%)
42人 (41%)
19人 (18%)
32人 (31%)
22人 (21%)
6人 (6%)

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会 7

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会

地域移行の取り組み等について

運営団体	クラブ名	拠点会場	対象学年	参加範囲	活動日数	時間帯	会費	活動状況
掛川市スポーツ協会	掛川ソフトテニスクラブ 第1チーム	いこいの広場 原野谷、桜が丘、西の中央コート、中央コート、中央コート、中央コート	中1~中3 男女 (計1)	原野谷、桜が丘、西	年240時間程度 週2~3日	平日 夜間 休日 日中	月5~6,000円	R8 創設予定
	掛川ソフトテニスクラブ 第2チーム	いこいの広場 北、東の中央コート、中央コート、中央コート	中1~中3 男女 (計1)	北、東、東川	年240時間程度 週2~3日	平日 夜間 休日 日中	月5~6,000円	R8 創設予定
	掛川ソフトテニスクラブ 第3チーム	大東北運動場 城東、大浜、大須賀の中央コート、中央コート、中央コート	中1~中3 男女 (計1)	城東、大浜、大須賀	年240時間程度 週2~3日	平日 夜間 休日 日中	月5~6,000円	R8 創設予定
市民団体	STARK (シュタルク)	いこいの広場	中1~中3 男女	市内全域	週1日	月 19時~	月6,000円	活動中
市民団体	Y'sジュニアソフトテニスアカデミー	安養寺運動公園	中1~中3 男女	市内全域	週1日程度 (2ヶ月8回)	平日 16時~19時 対開演制	月6,600円	公認手続中
市民団体	掛川フェニックスソフトテニスクラブ	大東北運動場 大東総合運動場	小、中、一般 男女	市内全域	週3~4回	平日 夜間 休日 日中など	小 月2,000円 中 月4,000円	活動中

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会

8

地域移行の取り組み等について

第3回目標検討部会資料

吹奏楽

1 かけがわ地域クラブ一覧 ※吹奏楽団の数は、事務局の希望調査の結果によって、変更する場合があります。

運営団体	クラブ名	拠点会場	対象学年	参加範囲	活動日数	時間帯	会費	活動状況
掛川市文化財団	掛川吹奏楽団_西	西中の中央コート	中1~中3 男女	原野谷、桜が丘、西	年300時間程度 週2~4日	平日 夜間 休日 日中	月6~8,000円	R8 創設予定
	掛川吹奏楽団_東	東中の中央コート	中1~中3 男女	北、東、東川	年300時間程度 週2~4日	平日 夜間 休日 日中	月6~8,000円	R8 創設予定
	掛川吹奏楽団_南	城東中の中央コート	中1~中3 男女	城東、大浜、大須賀	年300時間程度 週2~4日	平日 夜間 休日 日中	月6~8,000円	R8 創設予定
市民団体	掛川文化クラブ	掛川市生涯学習センター 東館	小4~中3 男女	市内全域	週1~2日	水 19時~ 土 13時~	月3,000円	活動中

※掛川吹奏楽団(西、東、南)の楽器のメンテナンス費やレンタル費などについては検討中です。
 ※掛川吹奏楽団(南)については、大規模に引き継ぐ吹奏楽部との連携を検討中です。
 ※平日の活動については、学校、公共施設を活用することを検討しています。
 ※指導者は、吹奏楽指導歴のある教員又は、地域利員員等を考えています。

活動中のクラブの募集要項はこちら


令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会

9

その他、掛川市の取り組みの特徴など



- 地域移行に関する周知について、ホームページなどで、分かり易く説明。
 - ・ 部活動の地域移行「なぜ改革か」部活動とは、部活動の問題点、部活動改革への思い、改革へのスケジュール、Q & A
 - ・ 知ってほしい「部活動のこと」部活動の位置づけ、持続可能な活動への変革

- ユーチューブでの動画も制作・公開。

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会

10

その他、掛川市の取り組みの特徴など

地域クラブ公認制度

2022年2月18日資料
 ~学校の部活動に代わる様々な活動環境を募集中~

1 地域クラブ公認制度
 掛川市では、部活動を学校だけでなく、地域全体で支えていくことを目指し、部活動の地域移行に取り組んでいます。現況の学校部活動の維持が図られており、多様化するニーズに応えるため、今年度は「地域移行の部活動」を推進し、小中学校の児童・生徒が安心して参加できる部活動の導入を図ります。部活動がないと認識して、今後、部活動に代わります多様な活動環境が求められます。
 ※なお、申請は、認定条件を満たした地域のクラブを掛川市教育委員会が独自に公認し、連携すること、子どもたちの多様なスポーツや文化活動の機会を広げることを行います。

2 教育委員会との連携
 公認地域クラブの掛川市教育委員会及び関係学校との連携
 (1) 学校の部活動と同等に公認地域クラブとして、納入維持費や納入生引込金(学費)などで支援やその保護費に充当する。
 (2) 練習場所や練習入部費の赤字を掛川市教育委員会から各団に配付する。
 (3) 掛川市教育委員会、掛川市ホームページ上で公認地域クラブの紹介を行う。 など

3 認定条件や認定までの流れ
 まずは、様式までお届ください。詳細のクラブ公認の取組も添付しています。
 0537-21-1109 (受付時間 平日午前9時30分から午後5時15時まで)

- 地域クラブ公認制度
 かけがわ地域クラブの活動主体となる。

- ・ 競技エアロビクチーム「BLUE WEAVE」
- ・ 掛川バドミントンクラブ
- ・ 掛川水泳クラブ
- ・ 掛川空手道クラブ
- ・ 掛川デジタルクラブ
- ・ 掛川南部デジタルクラブ
- ・ 掛川美術クラブ
- ・ ハンドクラフトクラブ

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会

11

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会

その他、掛川市の取り組みの特徴など

○ 市独自の指導者登録制度

○ 企業団体からサポート募集

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会 12

その他、掛川市の取り組みの特徴など

- 地域クラブ活動に係る事務負担軽減について
 - ・ 市教委で会員管理アプリの導入を検討。

- 掛川市の目標
 - ・ 「すべての市民が生涯にわたって、地域で多様な文化・スポーツ活動に親しむことができる環境づくり」
 - ★ 学区に関わらずやりたいことにチャレンジできる
 - ★ 新種目や気軽な活動などニーズに合わせた形を創りたい
 - ★ 誰もが無理せず維持できる持続可能な文化・スポーツ環境に変えたい

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会 13

②焼津市

人口 13,5万人
中学校数 9校

○ 調査ポイント

- ・ 令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（スポーツ庁）実施予定
- ・ 令和5年度部活動の地域移行に向けた実証事業（文化庁）実施予定
- ・ 地域クラブの段階的实施（R4…5つの種目、R5…12の種目）
- ・ 学校部活動の種目・分野にはない特色ある地域クラブ活動

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会 14

地域移行の取り組み等について

- 「地域クラブ活動在り方検討委員会」が全体の方向性を決める。
- 各種目の部会として、「地域クラブ活動推進委員会」を設置
 - ・ 構成員→学校関係者、競技協会・連盟役員、部活動指導員、外部指導者
 - ・ 段階的に種目を拡大
 - 令和4年度 5種目
 - 令和5年度 12種目
 - 令和6年度 18種目

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会 15

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会

地域移行の取り組み等について

令和5年度 焼津市地域部活動
運営マニュアル

焼津市教育委員会

目 次

- 1 はじめに 1
- 2 開設・部員募集・活動開始までの流れ 2
- 3 焼津市地域部活動推進事業要項 3
 - 【別紙】
 - ・運営計画書・活動報告書
 - ・会計報告書(参考例)・入部願い(参考例)
- 4 地域部活動事業推進スケジュール 12
- 5 地域部活動規約(参考例) 13
 - USB データ
- 6 会計ソフト「地域部活動出納帳」(参考) 15
 - USB データ
 - (世話人さんの簡単出納帳)の使い方

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会 16

地域移行の取り組み等について

○ 令和5年度12種目実施

- ・ 柔道
- ・ 剣道
- ・ 相撲
- ・ ニュースポーツ
- ・ 海洋体験
- ・ 陸上競技
- ・ ソフトテニス
- ・ 卓球
- ・ 水泳
- ・ レスリング
- ・ トランポリン
- ・ eスポーツ

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会 17

地域移行の取り組み等について

やいづ海洋クラブ
(種目: 海洋体験)

- ①金原聡
指導者: 焼津水産高校教員等
- ②月2回程度 土曜または日曜日
- ③小川港、焼津水産高校 等
- ④海洋体験
カヌー、ボート漕艇、生き物教室、シュノーケリング、その他
- ⑤定員20名…各学年6~7名程度 (R4からの継続部員あり)
※今回の募集は14名です。
- 毎月2,000円程度 (保険・燃料費・指導料等)
- ⑥初心者大歓迎!
海に興味がある人、集まれ~!

- ・ 主に中学校教職員で構成(小学校・高校教職員も所属)する「水産教育研究会」が母体。もともと「海に関する作文コンクール」を実施。
- ・ 海の生物の解剖や水産高校所有の船の見学、カヌー、フィッシング等実施。
- ・ プログラムは水産高校の先生が立案。
- ・ 焼津市は海に面しており、海洋教育を実施したかった。人気があり定員に達している。

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会 18

その他、焼津市の取り組みの特徴など

- 学校部活動について
 - ・ 令和4年度に「部活動ガイドライン」を改訂。平日週3日、土日はとちらか4時間以内のルールは守られており、ガイドラインの活動日や時間を下回っている学校もある。ガイドライン実施状況を取りまとめHPで公表。
 - ・ 中体連の前に開催していた市内大会「焼津市総合体育大会」をH31年度をもって廃止した(大会の精選)。
- 学校との情報共有について
 - ・ 上記大会廃止前は、毎年4月に中体連が主催する「部活動顧問会」を開催し、各学校の種目ごとの顧問が集まり情報共有を行ってきたが、大会廃止後も市教委が主催となり顧問会を継続しており、情報共有の場となっている。
- 焼津市の目標
 - ・ 「焼津市のスポーツ活動・文化活動の新たな発展」
 - ・ 「焼津市らしい教育活動(学校教育・社会教育)の推進」

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会 19

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会

③富士市

人口 24.2万人
中学校数 16校



○ 調査ポイント

- ・ 休日の部活動の地域移行について函館市と同様の課題等を検討中。協議の場を令和5年の年明けから設けるなど、進捗は函館と同程度と想定
- ・ 函館市と人口、中学校数も近いことから今後の取り組みについて情報交換

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会

20

地域移行の取り組み等について

○ 学校部活動の取り組みについて

- ・ 現行の部活動 加入率は約95%（任意加入）
- ・ 現在の部活動は、夏季17時まで、冬季16時30分までとしている。平日は、月・水休養日。土日のどちらか休養日（3時間）。
- ・ 学校側も少しでも長く部活動ができるように掃除やホームルームの時間を調整したりしている。
- ・ 生徒や保護者から活動時間が短すぎるなどの意見はない。
- ・ 拠点校方式も検討したが、富士市は坂道が多く生徒が自力で移動するのが難しい。当面は現行の学校部活動を継続する。

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会

21

地域移行の取り組み等について

○ 地域移行の取り組みについて

- ・ スポーツ協会・文化連盟から声掛けをして各団体へ説明のうえ、市教委でヒアリングを実施。
- ・ 各団体にヒアリングして得たものは、富士市立中学校部活動地域移行検討懇話会（令和5年度～）において報告し、関係者と情報共有。
- ・ スポーツに関しては、中体連にない種目が積極的。文化に関しては、2～3分野で一つの会場で体験会的なところからできないかと話している。
- ・ 令和6年度から、国の実証事業に取り組む予定

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会

22

その他、富士市の取り組みの特徴など

○ 学校部活動の適正化を図りながら、地域移行についてはできるところから取り組む。

- ・ 地域の人材確保は大きな課題。少年団含め、スポーツ協会・文化連盟に掘り起こしてもらうことを考えている。研修も必要。
- ・ 「推進計画」は未作成。団体によって、組織力や指導者数、活動場所の状況などが様々であり、統一したスキームで地域移行・地域連携を進めることは困難。

○ 富士市の目標

- ・ 「多様な体験の機会を子どもたちに与える」

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会

23


令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会

④ 沼津市

人口 18.5万人
中学校数 18校

○ 調査ポイント

- 令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（スポーツ庁）実施
- 吹奏楽の地域プロジェクトの実施
- 沼津市部活動改革プロジェクトのホームページを開設・運営
- 部活動地域移行について家庭、地域への発信



NUMAZU CITY
100th Anniversary
きらり沼津。
次の100年へ


令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会 24

地域移行の取り組み等について

休日移行のモデルケースを実証実施します

文部科学省からは令和5年度からの3年間を改革推進期間とし、まずは休日の部活動を学校から切り離す方向性が示されています。これを受けて、沼津市は今年度、5事例程度の休日移行の実証事業を行います。

今年度の実証事業



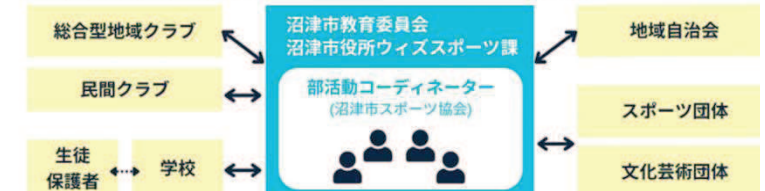
部活動コーディネーターが各学校に伺い、部活動の実態や課題をヒアリング調査し、学校の実状を踏まえた上で、モデル校(種目)を選定します。部活動の受け皿となる民間団体等とのマッチングや調整を行い、実証事業スタート前には保護者に向けて説明会を行う予定です。

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会 25

地域移行の取り組み等について

調整推進役として「部活動コーディネーター」を配置

今年度から学校、保護者、地域、スポーツ・文化芸術団体等をつなぐ調整・推進役として、教育委員会内に部活動コーディネーターを4人配置しています。




令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会 26

その他、沼津市の取り組みの特徴など

沼津に中学生集団 部活の地域移行見直し新設、初練習

吹奏楽の地域プロジェクト

- 昨年度から、地元の吹奏楽団「沼津プラス・フロンティア」が主体となって、市内中学生を対象とした「沼津プラス・フィールド」を立ち上げ、試行的に学校以外の施設で活動を開始している。
- イベント（市芸術祭）でステージを経験。



令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会 27

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会

その他, 沼津市の取り組みの特徴など

- 学校部活動について
 - ・ 昨年度, 「平日活動を月・木を休み, 17時まで, 全校任意加入」を決定し, 今年度から運用。
 - ・ 平日の部活動時間(2時間)を確保するため, 夏季は部活動日は5時間授業とした。
 - ・ 富士市と同様, 部活動の時間縮小に対しては教員, 保護者, 生徒からの意見はほぼなし。
- 今後の地域移行の方向性について
 - ① 多くの子供の活動・体験機会の維持, 継続
 - ② 少子化による選択種目減への対応, 種目を選べる環境
 - ③ 高いレベルの競技者やチームの育成(競技志向)
 - ④ 持続可能な新たな受け皿(仕組み)づくり
 - ⑤ 教員多忙化の早期解消
 - ⑥ 地域移行を通した生涯スポーツ促進やコミュニティ再生地域

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会

28

その他, 沼津市の取り組みの特徴など

- 活動場所の確保について
 - ・ 学校が活動拠点となるため, 学校開放などの管理・運用の仕組みを見直す予定。有料化も検討し, 減免規定等は今後検討予定。
 - ・ 収益は子どもの支援に使うことも検討。
- 地域・民間ができることは自主的にやってもらう(市は補助的立場)。
- 沼津市の目標
 - ・ 「子どもが希望する活動や体験, 学びの機会の維持・継続」

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会

29

⑤ 静岡市



人口 68.3万人
中学校数 42校

○ 調査ポイント

- ・ 平日のエリア制部活動(拠点校方式)による持続可能な部活動体制の構築と休日の「シズカツ」による地域移行の取り組み(令和5, 6年度実証事業)
- ・ 教育委員会と民間企業・事業所等と連携(静岡市部活動応援隊)

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会

30

地域移行の取り組み等について

エリア制部活動における指導体制と活動場所

- 1つの部に対して, 原則2名の顧問のもとで活動する。
- 原則, 一カ所で活動するが, 平日においては関係校の実情に応じて活動する。※

顧問の配置	拠点校のみ	拠点校+関係校
拠点校	顧問2名	顧問1名
関係校① (既存部活あり)	連絡担当のみ	顧問1名
関係校② (既存部活なし)	連絡担当のみ	連絡担当のみ
活動場所	拠点校のみ	拠点校及び関係校①※

※顧問がいない関係校志の生徒は, 平日から拠点校に移動して活動する

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会

31

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会

地域移行の取り組み等について

○平日のエリア制部活動と「シズカツ」の地域展開

	R5.4 学校部活動の推進		R8.8 シズカツの休日展開		R12 シズカツの全日展開	
	エリア制部活動の推進 (エリア内の学校単位で実施)		シズカツの休日展開 (全市にて実施)		シズカツの全日展開 (全市にて実施)	
期	平日	休日	平日	休日	平日	休日
活動	部活動		部活動	シズカツ	シズカツ	
管理	学校		学校	市(運営団体)	市(運営団体)	
指導者	教員		教員	地域指導員 (教員、市民、ボランティア、保護者、地域人等)	地域指導員 (教員、市民、ボランティア、保護者、地域人等)	
エリア	エリア単位 OR 学校単位	エリア単位 OR 学校単位	エリア単位 OR 学校単位	エリア単位 OR 学校単位	エリア単位 OR 学校単位	
大会	単一校の部活と同等の扱いで出場(教員引率)		地域クラブとして出場(地域指導員引率)		地域クラブとして出場(地域指導員引率)	
発着課題	○学校規模による違いの解消 ○学校以外での展開先(新たなコミュニティ) ●顧問教員の負担		○学校規模による違いの解消 ○部員数の確保 ○学校以外での展開先(新たなコミュニティ) △顧問教員の負担軽減		○学校規模による違いの解消 ○部員数の確保 ○学校以外での展開先(新たなコミュニティ) ○顧問教員の負担軽減 ○平日の活動時間	

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会 32

地域移行の取り組み等について

「部活動」から静岡市の新しいブカツ「シズカツ」へ

部活動の課題

- 選択肢の減少
- 部員不足
- 指導者不足

シズカツ

学校の枠組みを越えて、地域や学校間で支え合うことで、学校環境に左右されない活動機会を実現

特色:エリア

近隣の仲間と共に活動できるエリア制エリア内の生徒なら誰でも参加可能

特色:経験ある指導者

活動に習熟し研修を受けた市民コーチや教員からの専門的で教育的な指導

課題解決

選択肢の確保

部員の確保

経験ある指導

学校とは違う新たな仲間や多様な大人との出会いが学びにつながる

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会 33

その他、静岡市の取り組みの特徴など

○民間企業・事業所との連携(静岡市部活動応援隊)



静岡市の目標

- 「家庭状況や学校規模に左右されず、子どもたちの豊かな体験や学びを保障」(セーフティーネット)

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会 34

御清聴ありがとうございました。

令和5年度第3回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会 35